

◆何十をかける計算

4 まいずつたばになったはがきが、30 たばあります。
はがきは全部で何まいあるでしょうか。

- ① 全部のはがきのまい数は、どんな式でもとめられるでしょうか。

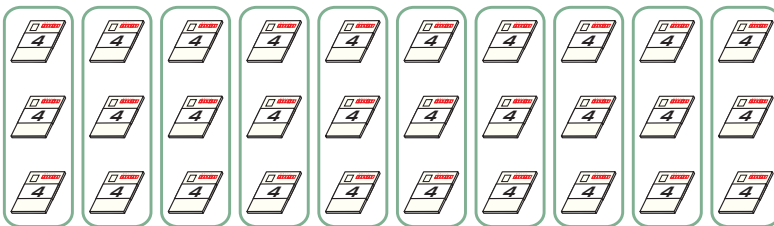
しき
式

$$4 \times 30$$



4 まいずつのたばが
3 たばなら、どんな
しき
式になるかな。

- ② 図を見て、計算のしかたを考えましょう。



4 まいずつ 3 たばの
まとまりがいくつ
あるかな。



・ 4×30 の答えは、 4×3 の答えを 10 倍して
とめることができます。

$$4 \times 30 = (4 \times 3) \times 10 = 120$$

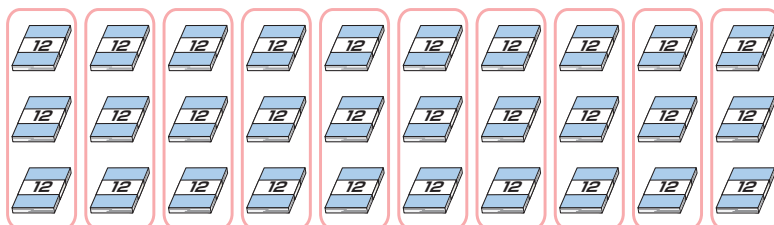
こた
答え

120 まい

4×3 の答えに、
0 を 1 つつけた
かす
数になるね。



12 $\times$ 30 の計算のしかたを考えましょう。



12 が 3 つ分の
まとまりがいくつ
あるかな。



$$12 \times 30 = (12 \times 3) \times 10 = 360$$

	1	2
$\times$		3
	3	6

12×3 の答えに、
0 を 1 つつけた
かす
数になるね。





◆ 2 けた × 2 けたの計算

1 人が 12 まいずつおり紙を使います。
23 人分では、おり紙は何まいひつようでしょうか。

- ① 23 人分のおり紙のまい数は、どんな式でもとめられるでしょうか。

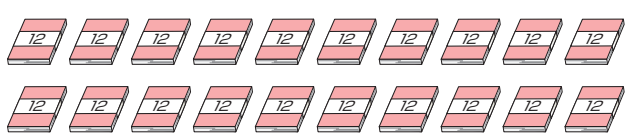
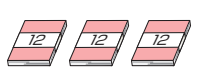
式

$$12 \times 23$$

1 人が 12 まい使うのだから、
12 まいの 23 倍をもとめる
ことになるね。



- ② 23 を 20 と 3 に分けて、計算のしかたを考えましょう。

	→	12 × 20 = 240
	→	12 × 3 = 36

- ③ 12 × 23 の答えは、12 × 20 と 12 × 3 の答えを
あわせるともとめられます。

$$12 \times 23 = 276$$

答え

$$276 \text{ まい}$$

- ④ 12 × 23 の筆算は、次のようにします。

12 × 23 の筆算のしかた

$\begin{array}{r} 12 \\ \times 23 \\ \hline \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 12 \\ \times 23 \\ \hline 36 \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 12 \\ \times 23 \\ \hline 36 \\ 24 \\ \hline 276 \end{array}$
--	---	---	---	---

- ① 12 × 3 を計算する。

- ② 12 × 20 を 12 × 2 と
みて計算する。

- ③ たし算をする。

2 けたの数のかけ算 ③

(教科書 97 ページ)

3 年	名	
	組 前	

37 × 45 の筆算のしかた ひっさん

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 45 \\ \hline \textcircled{1} 185 \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 45 \\ \hline 185 \\ \textcircled{2} 148 \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 45 \\ \hline 185 \\ 148 \\ \hline \textcircled{3} 1665 \end{array}$$

① 37×5

② 37×4

③ たし算をする。さん

① 21×42

$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 42 \\ \hline 42 \\ 84 \\ \hline 882 \end{array}$$

② 38×12

$$\begin{array}{r} 38 \\ \times 12 \\ \hline 76 \\ 38 \\ \hline 456 \end{array}$$

③ 16×42

$$\begin{array}{r} 16 \\ \times 42 \\ \hline 32 \\ 64 \\ \hline 672 \end{array}$$

④ 83×29

$$\begin{array}{r} 83 \\ \times 29 \\ \hline 747 \\ 166 \\ \hline 2407 \end{array}$$

⑤ 56×34

$$\begin{array}{r} 56 \\ \times 34 \\ \hline 224 \\ 168 \\ \hline 1904 \end{array}$$

⑥ 65×48

$$\begin{array}{r} 65 \\ \times 48 \\ \hline 520 \\ 260 \\ \hline 3120 \end{array}$$

⑦ 27×37

$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 37 \\ \hline 189 \\ 81 \\ \hline 999 \end{array}$$

⑧ 34×16

$$\begin{array}{r} 34 \\ \times 16 \\ \hline 204 \\ 34 \\ \hline 544 \end{array}$$

⑨ 26×43

$$\begin{array}{r} 26 \\ \times 43 \\ \hline 78 \\ 104 \\ \hline 1118 \end{array}$$



◆ 3 けた × 2 けたの計算

おかし^{つく}作りのざいりょうひは、1 人^{ぶん}分が 153 円になるそうです。
34 人^{ぶん}分では、何^{なん}円になるでしょうか。

- ① 34 人^{ぶん}分のざいりょうひは、どんな^{しき}式でもとめられるでしょうか。

しき式

$$153 \times 34$$

1 人^{ぶん}分が 153 円だから、
153 円の 34 倍^{ばい}をもとめる
ことになるね。



- ② 34 を 30 と 4 に^わ分けて、計算^{けいさん}のしかたを^{かんが}考えましょう。

30 人^{ぶん}分は、 $153 \times 30 = 4590$

4 人^{ぶん}分は、 $153 \times 4 = 612$

- ③ 153×34 の^{こた}答えは、 153×30 と 153×4 の^{こた}答えを
あわせるともとめられます。

$$153 \times 34 = 5202$$

こた
答え

$$5202 \text{ 円}$$

- ④ 153×34 の^{ひっさん}筆算は、^{つぎ}次のようにします。

153×34 の^{ひっさん}筆算のしかた

$$\begin{array}{r} 153 \\ \times 34 \\ \hline \end{array}$$

① 6 1 2

$$\begin{array}{r} 153 \\ \times 34 \\ \hline 612 \\ \hline \end{array}$$

② 4 5 9

$$\begin{array}{r} 153 \\ \times 34 \\ \hline 612 \\ 4590 \\ \hline 5202 \end{array}$$

③ 5 2 0 2

- ① 153×4 を^{けいさん}計算する。

- ② 153×30 を 153×3 と
^{けいさん}みて計算する。

- ③ たし^{ざん}算をする。

2けたの数のかけ算 ⑤

(教科書 100 ページ)

3年

名

組 前

628 × 74 の ひっさん 筆算のしかた

	6	2	8
×		7	4
①	2	5	1 2

① 628 × 4

	6	2	8
×		7	4
	2	5	1 2
②	4	3	9 6

② 628 × 7

	6	2	8
×		7	4
	2	5	1 2
4	3	9	6
③	4	6	4 7 2

③ たし算さんをする。

① 318 × 23

	3	1	8
×		2	3
	9	5	4
6	3	6	
7	3	1	4

② 254 × 13

	2	5	4
×		1	3
	7	6	2
2	5	4	
3	3	0	2

③ 176 × 52

	1	7	6
×		5	2
	3	5	2
8	8	0	
9	1	5	2

④ 479 × 36

		4	7	9
	×		3	6
	2	8	7	4
1	4	3	7	
1	7	2	4	4

⑤ 892 × 43

		8	9	2
	×		4	3
	2	6	7	6
3	5	6	8	
3	8	3	5	6

⑥ 604 × 87

		6	0	4
	×		8	7
	4	2	2	8
4	8	3	2	
5	2	5	4	8

⑦ 417 × 30

		4	1	7
	×		3	0
1	2	5	1	0

417
× 30
—
000
1251
—
12510
ひっさん
の筆算をかんたん
にすると…。



⑧ 800 × 47

		8	0	0
	×		4	7
	5	6	0	0
3	2	0	0	
3	7	6	0	0